# 小児用肺炎球菌ワクチン（プレベナー®）を接種しましょう！

愛媛生協病院小児科

## 大切な肺炎球菌ワクチンとは、どんなワクチンですか？

肺炎球菌は、多くの子どもの鼻やのどにいる身近な菌ですが、子どもの体力や抵抗力が落ちたときなどに、いろいろな感染症を引き起こします。肺炎球菌が引き起こす病気のうち、毎年約200人の子どもが肺炎球菌による**細菌性髄膜炎**にかかり、そのうち1/3くらいの子どもが、死に至ったり、重い障害を残したりしてします。細菌性髄膜炎は、発症早期の診断が非常に難しく、治療開始が遅れて重症化することもまれではありません。また**菌血症**は、血液の中に菌が入り込み、いろいろな臓器に感染をおこし、髄膜炎など重い病気を引き起こす可能性があります。その他、重症の**肺炎**や繰り返す**中耳炎**の原因になります。

この重大な病気を、**沈降型7価肺炎球菌結合型ワクチン（プレベナー®）**という予防接種で発病を防ぐことが出来るのです。肺炎球菌ワクチンは、世界約100カ国で使用されており、45カ国で国の定期接種プログラムに導入されています。 2000年から定期接種行っているアメリカでは、ワクチンで予防できる肺炎球菌による重症感染症が98%減少しました。日本では2010年2月24日にようやく発売されました。

## 接種の費用はどのくらいかかりますか？

残念ながら当初は任意接種の扱いとなり、接種費用は自費となります。

当院では、組合員　　9,000円
　　非組合員　　10,000円
　　となっています。

## 肺炎球菌ワクチンの接種スケジュールは？

**接種対象：2か月齢以上9歳以下**
**接種回数：標準4回**
**（初回免疫3回、追加免疫1回）**

### ①標準スケジュール

（7ヵ月未満児、生後2ヵ月から接種可能）

肺炎球菌による髄膜炎は約半数が0歳代でかかり、それ以降は年齢とともに少なくなりますが、5歳くらいまでは危険年齢です。ですから、2か月になったらなるべく早く接種しましょう。

4～8週間隔で3回接種その後、60日以上の間隔をあけ、かつ1歳以上で追加接種1回。合計4回接種。

三種混合ﾜｸﾁﾝ（DPT）やﾋﾌﾞﾜｸﾁﾝと同時接種も可能です。BCG接種の時期と重なり、BCG接種後は4週間間隔をあけて接種することになるので、医師と相談してください。

図1　プレベナーの接種スケジュール

**②生後 7 ヵ月～12 ヵ月未満の場合**

4～8 週間隔で 2 回接種、その後 60 日以上の間隔をあけ、かつ 1 歳以上で追加接種。合計 3 回接種。

ﾎﾟﾘｵ生ﾜｸﾁﾝや三種混合ﾜｸﾁﾝ（DPT）と重なる時期ですが、他のワクチンと同時接種も不可能ではないので、医師と相談してください。

**③1 歳**

1 回接種後 60 日以上間隔あけて追加接種。合計 2 回接種。

**④2 歳～9 歳**

1 回接種で終了。

保育園や幼稚園の集団生活に入る前に、接種を完了することが望ましいとされています。

**肺炎球菌ワクチンの副反応は？**

注射部位の症状（赤み、硬結、腫れ、痛みなど）、発熱（37.5℃以上）などです。重い副反応としては、非常にまれですが、海外で次のような副反応が報告されています。

★ ショック・アナフィラキシー様反応（通常接種後 30 分以内に出現する呼吸困難や全身蕁麻疹などを伴う重いアレルギー反応のこと）

★ けいれん

このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出て下さい。

**接種時にはどのような注意が必要ですか？**

発熱がなく、カゼ等の症状がなく元気であれば、医師の診察で接種可能となります。

予診票を書いて頂くので、その際にお渡しする説明書をよくお読みになって、保護者の署名を頂くことになっています。

接種後 30 分間は院内で経過を見て、強い副反応の出現がないのを確認してから、帰宅して頂きます。当日入浴は可能です。

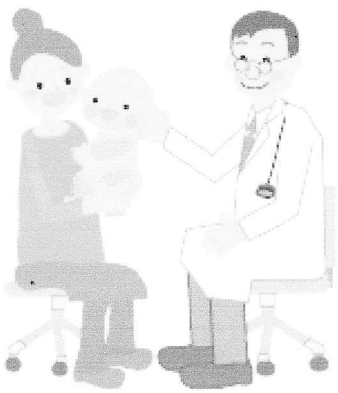
**肺炎球菌ワクチン接種には予約が必要ですか？**

予約が必要です。電話で予約する場合は、代表電話（089-976-7001）で、「小児用の肺炎球菌ワクチンの予約の件で」とお申し出、小児科外来へ取り次いでもらって下さい。

電話予約は、月曜日～土曜日の各科の診療時間内です。お名前、年齢、生年月日、連絡先電話番号をお知らせください。

**最後に**

経済的に余裕がない家庭の子どもが、ワクチンを接種できないという差別的な格差があることは、子どもの人権問題です。
子どもたちを守るために、そして健康被害が発生した時の適切な救済措置のためにも、法的にも公費負担での「定期接種」として実施することが望まれます。



（2010.6.1）